

情報セキュリティ方針

私どもアラヤサッポロ株式会社（以下、「当社」）のビジネスは、お客様や翻訳者等の世界中のビジネスパートナーから情報資産をお預かりすることで成り立っています。

それ故、お預かりした情報資産および当社の情報資産を守ることがビジネス上の本質的な責務であると認識します。

そして、法令やお客様からの情報セキュリティに関連する様々な要求事項を遵守すべく、人的・技術的な仕組みづくり（情報セキュリティマネジメントシステム）に励み、お客様、ひいては社会からの信頼を確実なものとしていきます。

以上をふまえ、当社は情報資産を保護する指針としてここに「情報セキュリティ方針」を定め、以下の取組みを実施致します。

1. 情報資産の管理

当社は情報資産を確実に保護することを目的に、適切な情報セキュリティ対策を講じます。機密性・完全性・可用性の全てを重視したリスク評価及び分析するシステムを構築し、新たに起こり得る脅威に耐えうる体制の確立に励みます。また、社内における組織的、人的、技術的な対策に加え、社外の安全な場所にデータセンターを設置し、お客様からお預かりする大切な情報資産の保護にあたります。

2. 法令及び契約の遵守

当社は不正アクセス禁止法、不正競争防止法、著作権法や個人情報保護法等の情報セキュリティに関する法令、及びお客様やお取引先との契約を遵守致します。

3. 情報セキュリティへの具体的取組み

当社は情報セキュリティを確実に運用するため、各部門の日々の業務にセキュリティ上の管理策を取り込みます。さらに、部門毎に業務の特長に適した情報セキュリティ目的を設定し、目的実現ための取組みを行っていきます。

4. 教育・啓発の実施

当社は情報セキュリティに対する意識を高め、情報資産の重要性についての共通の認識を保つべく、当社の役員はもとより業務に従事する者全てに、情報セキュリティに関する定期的な教育・啓発を実施致します。

5. 推進体制および継続的な改善

当社は情報セキュリティ委員会を中心に、セキュリティに関する定期的な見直しを実施する仕組みを確立し継続的な改善を行っていきます。さらに、当社の情報セキュリティ方針に基づいた管理システムが、適切かつ有効に運用されるよう定期的な監査を実施致します。

2012年4月8日制定

2017年2月1日改訂（最終）

アラヤサッポロ株式会社

代表取締役

中島直富